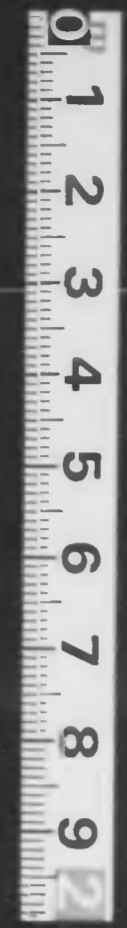


週寫眞報

編輯部報情閣内
ノセ十・號二卅第・日一廿月九

昭和十三年九月廿一日 星期二 編輯部報情閣内 昭和十三年九月廿一日 星期二 (第一回本報百周年) 第百一



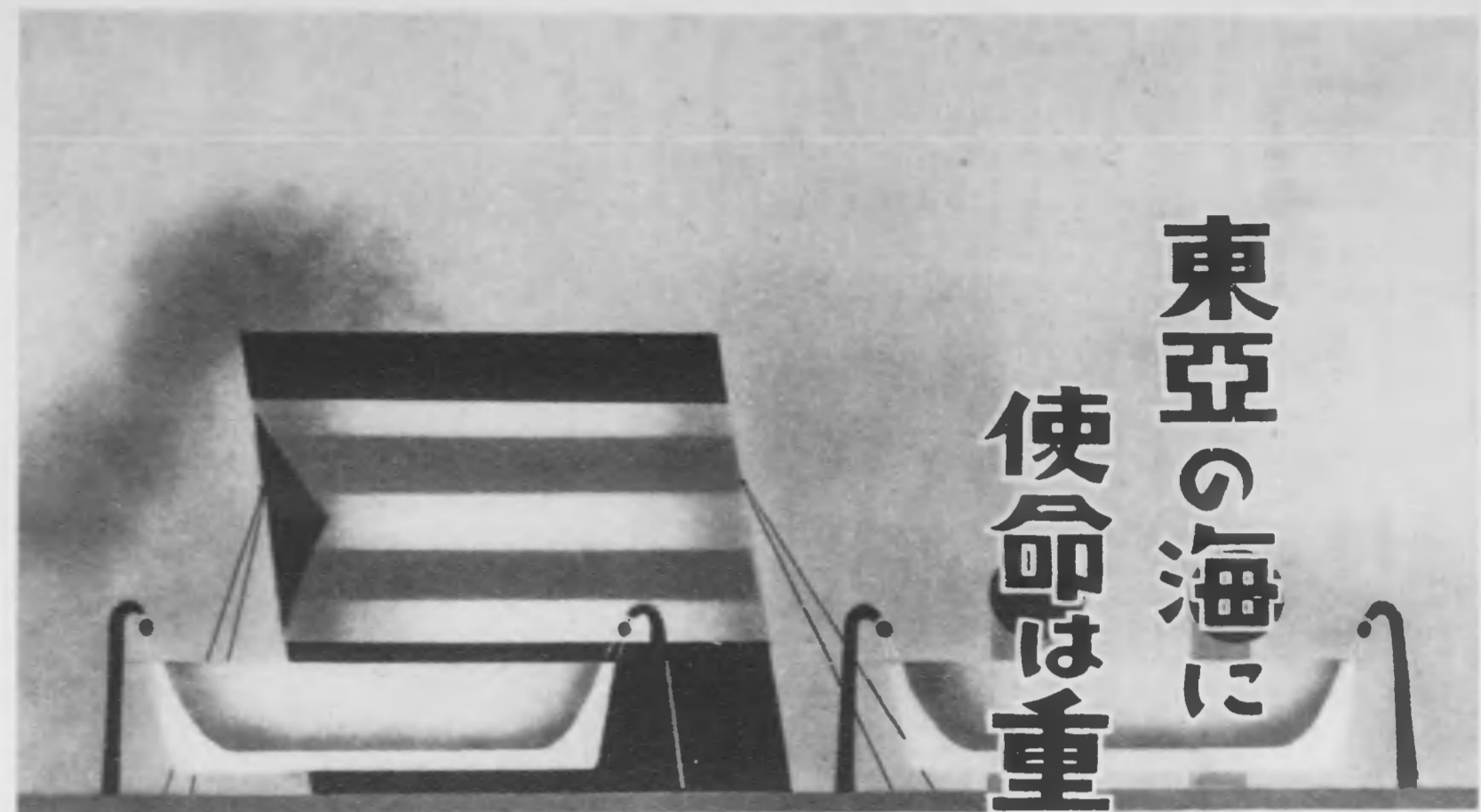
十月一日から
商店法實施



圖要況戰面方支中

(在現日五十月九)

漢口作戰進展



東亞の海に
使命は重し

路航管經要主

小樽	函館	小笠原	横濱	横濱	大連	神戸	神戸
恵須取	千島	原島	菅口	天津	長崎	天津	基隆
線	線	線	線	線	線	線	線
若松	東京	神戸	大阪	東京	神戸	高松	高雄
大治	八幡	門司	恵須取	小樽	門司	仁川	仁川
線	線	線	線	線	線	線	線

近海郵船株式會社

本店 東京市丸の内
支店 小樽・函館・東京・神戸・松本
支店 天津・大津・漢口・上海

青島・上海
南洋方面へは
日本郵船で

漢口作戰進む

武漢三鎮をめざして猛進をつづけてゐる皇軍は、揚子江をはさんで北に南にめざましい戦果を収めながら11日とその包圍陣を縮小しつゝある既に北京、上海、南京を失つた蔣政権にとつて漢口は今や軍事的だけでなく経済的にも、その抗日生命存続の最後の據地である。かつての首都南京を失つた蔣政権が、漢口を事實上の第二の首都と定め、附近一帯の山嶽、湖沼の地勢を利用して一大堅塁を構築するとともに、蔣政権が過去十年にわたつて培養し、蓄積した浙江財閥を中心とする経済力と、軍需工場を武漢に移してあくなき抗日を叫びつゝ、武漢一帯を産業地、交通上支那中原の最後の要衝と目したためであつた。



陽明山嶺には高麗砲を當らしめ、いづれも二十餘師以上の大軍を率ひ、名にしおふ大別山山脈の天險をはじめ、江北江南の要路には山を縦り、湖沼、河川の地形を利用して堅固な陣地を構築し、わが進軍を食ひ止めやうと必死の抵抗をつづけてゐるが、凡ゆる困難を越へて進む皇軍の前には堅塁も大軍も如何ともなし得ず、その防禦陣は次から次へと崩壊を余儀なくされてゐる。

即ち、江北の龍洞、六安、霍山を奪つたわが最右翼は、一日に葉家集を、六日には固始を陥れ、山嶽の險に據る敵十數萬を西に駆逐しつゝある。また揚子江の北岸に沿つて西進中の部隊はすでに宿松、黃梅の要衝を占領、六日には廣濟を陥れて息つくまもなく、街道の南側に聳える山嶽地帯を百餘度の炎熱と戦ひつゝ、一路漢口をめざして進軍をつづけてゐる。更に、江南方面では一ヶ月餘にわたり陽明山の天險によつて頑強に抵抗をつづける敵を逐つて苦闘の末つにこれを抜いたわが部隊が更に三日陽明山を占領、瑞昌方面から南下した部隊、及び鄱陽湖湖畔に上陸して東進、西進の要衝を占領した友軍とともに、南潯鐵道沿線の要衝を迫つてゐる。他方黃河北岸の戦線に於ても、わが山西掃蕩隊の完成により、黄河を隔て、洛陽、蘭州を指呼の間に見え、武漢西北方の動脈西安方面に通じる赤色ルートは既に切断されんとしてゐる。



一帯を失つた敵は、更に次の山に據り、天險を利用して執拗に抵抗する。わが勇士たちは炎天の中を山から山へ重い砲を運んで追撃の手をゆるめない。江北戦線多雲山攻撃中の佐野部隊。

撮影 同盟通信社映畫部



眼前に屹立する陽明山の天險。怒濤の如く長江南岸を席捲して進軍する皇軍の鬼神も却ける氣魄はこの山を抜き、谷を傾けたのだ。仰げこの山嶽。標を正して屍山血河、護國の鬼となつた幾多英雄の眼を祈らう。

陽明山の天險をたのんで頑強に抵抗する敵陣の一角もつひに崩れ、無念の敵將が部隊長の一命を奪ひ去つた東孤嶺の嶺はここのわづか数日後であつた。



敗走した敵はたちまち又新しい陣地によつた。わが軍は一瞬の餘裕もあたへず弾丸を負ひ、砲を荷つて追撃にうつつた。東孤嶺を前に進軍する飯塚部隊、馬上の勇士は故飯塚部隊長。



友軍西孤嶺を抜くの報が交代前に来た。あの山だ、躍る胸をおさへて雨を望めば秋はきらり秋の陽にきらめく。壘子城に立つ歩哨。

漢口へ漢口へ！ 冷雨沛然と新戦場を洗ひ、秋立つ風は進軍の汗を吹きさぐる。無敵軍の生気は烈々、息もつかず猛攻の歩武は続く。

三十萬の敵精銳が、近代裝備の限りを尽くして死守する堅陣を破らして、武漢に向ひ進軍する皇軍と共にわが運送船は糧食彈藥を山と積んで長江を溯る。

無敵空軍は、既に武漢の空を制覇した。けふも、基地を飛び立つ野鷲の爆音は高らかに進軍の調子を奏で、翼下、河航部隊は長江の激流を蹴つて進む。空に流れる季節の雲秋色漸く、船に漢口攻略の戦史を彩る。

見よこの天嶮、廬山東側標高一、二〇〇米の牛頭山の山肌は、交通線も掩蔽壕もいらぬと支那軍特校が囁語した密林地帯、守るに易く攻めるに難いこと、これより甚しいものはない。而も皇軍は一歩々々不可能事を可能ならしめつゝ攻めのぼる。



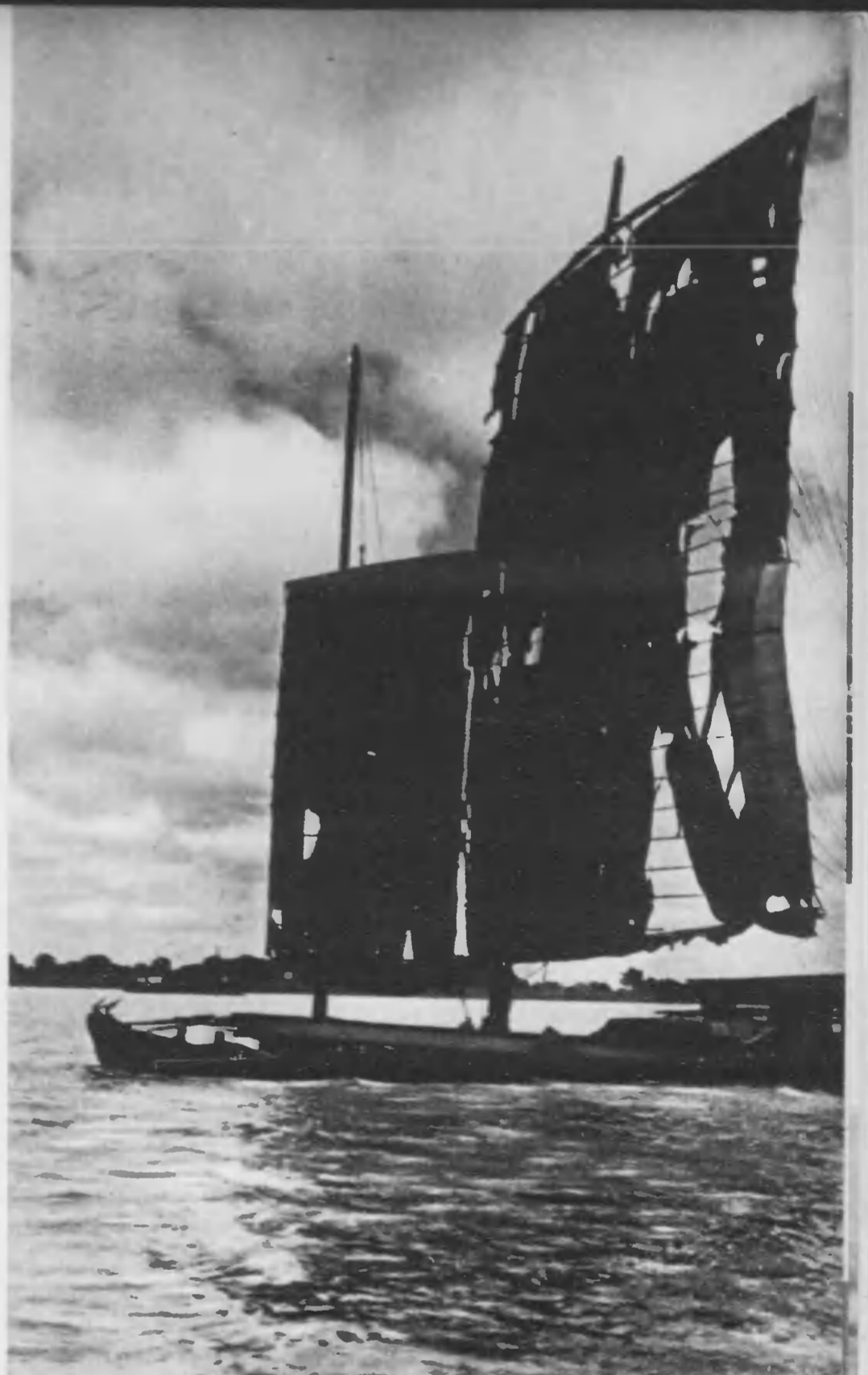
撮影同慶通信社





黄浦江を溯航する

一ヶ月前は野馬をたよへてゐた黄浦江も、蘇州に
 至る數十里の沿岸のけふこの頃、見違へる豊平な
 美しい江南の秋になつた。その頃強れたばかりだつ
 た赤ちゃんも、膝子人形のやちとまくるしく育つた。
 江上遊覧のおとづれる毎に江蘇の町は日軍旗が波打
 ち、茶亭には「大地」の王國が新旗の復興、この秋
 の秋、蘇州に安全がない。支那無名戦士の墓もわが
 軍の手で建てられた。蘇州の名カメラン、リビ
 ルト・アングスト氏も映畫を撮影に来てゐる。江南
 の秋のどか。



海軍
 艦影
 一



十月一日から 商店法実施



厚生省

いよいよ十月一日から、商店法が施行されることになりました。

いままでは、工場や鉱山の労働者にのみ適用されてきたが、商店法は、工場や鉱山の労働者にかぎられておらず、商店に働く人にも適用されることになりました。

政府では、そのやうな人達を保護するため、色々研究をすすめておりましたが、時局激変の今日、國民の中堅である商店使用人青年子女の教育とか教育は非常に大切なことでもありますので、いよいよ商店法を施行して、青少年店員を保護し、その向上心に燃える純真な意志を大いに尊重することになったのです。

それでは、商店法が施行されなければならない理由、法の内容はどうか、もう少し詳しくお話ししましょう。

一、商店法制定の理由
昭和十年度の陸軍省の調査によりますと、徴兵検査の結果は、商業に従事する者が、勤労者中もつとも地位が劣つてゐて、甲種合格は水産業など四一%で主位を占めてゐますが、商業はわづか二六%で一番下位です。これに反して、丙種は、商業が三五%で一番多く、水産業は二五%で一番少なくなつてゐます。まことに嘆かましいことと言はねばなりません。

これは、今まで、商店の営業時間に、法的な制限がなく、又自治的な協定も少なく、お客があつても無くて、夜遅くまで開店してゐて、店員は、そのために、自然睡眠不足となり、過勞に陥り、健康を害してゐる爲です。

二、商店使用人の修養、訓練上の必要
以上の結果、折角、立派な商人にならうと思つて商店に入つても、たまたま人格を無視されたり、勉強の暇もない爲に、つひ、一般人としての教養も乏しく、又、新時代に適つた立派な青年として成長もしないといふことになるのです。又折角、附近に青年學校があつても、時間の都合で、そこで、勉強修養も出来ないといふ事情に置かれて終ひます。勿論、いまの法規では、未だ、青年學校を十分に利用出来る處までいづつてゐませんが商店法の理想は、商店従業員の體格、健康を向上させるとともに、すすんで、修養、訓練の機会も與へようとするのにあるのですから、追々改良されませう。

三、その他の理由
先年當局で調べた處に依りますと、全國百十六都市の夜間の買上高は、午後九時以後の買上高が一日の買上高の一刻四分であり、午後十時以後となると、わづかに三分五厘にすぎませんのみならず、一都市に於ける消費者の購買總額は一定時には大體減がきまつて居り、商店の営業時間のわづかな制限で、その

買上高が直ちに減るものとは考へられません。

で、営業時間の長いのは、使用人を疲勞させ、各種の經費を浪費するばかりで、商店の経営上から見て、國民経済上から言つても、合理化をはかる必要がありまう。又、社會の消費生活に規律をあたへるといふ點から言つても、商店の営業時間を適當に制限する必要がありまう。

商店法の内容
一、適用範囲
原則として、市並に隣接町村に適用し、その商店は、物品販賣業及び娯楽業をいとなむ店舗でありまう。然し、料理店、飲食店、旅館その他の似たやうな店では、営業時間の制限が困難ですから、本法適用の外に置いてゐます。

二、閉店時刻
原則として午後十時となりました。然し閉店時刻前から店に居る客や、病人などが出来て急ぐ場合は、例外とされました。そして又、特別に百貨の場所などは十一時頃まで繰延べられる場合もあり、年末、年中、祭日等で、年大體六十日位は、時間の繰延べを認めることとしました。

三、休日
使用人に對して、毎月一回以上の休日と與へなければならぬことになつてゐます。勿論、一日以上與へてゐる處も澤山ありますが、それに越したことは

ありません。

四、大商店の就業時間及休日
五十人以上使用する大商店に於ける十六歳未満の者及び女子については、就業時間を一日に付十一時間（休み時間三十分又は一時間をふくむ）以内として休みを毎月三回以上と定めまう。

五、交通機關内の店、露店
これらの店は、本法の適用の外に於てゐますが、商店との不審競争となる場合は行政官廳では露店営業の時刻を定めることが出来ます。

この他デパートなどで、女子店員のために三人に一脚の椅子を用意するとか、果行場、停車場等の特別な店に於いての例外がありますが、大體、前に述べたやうなことが商店法の骨子です。

われわれの覺悟
商店法はこのやうな趣旨で施行されるので、施行と同時に、商店主はわが國現下の内外情勢をよく考へ國民の義務として、躍進日本の中堅であり無敵軍の一員となる尊い使命をになつた青少年店員を温い理解をつとめ、率先して同法規を實行し修養、訓練、健康施設をとりこへてやつて、その體格向上、修養訓練に大いに力を注がねばなりません。店主諸君も餘裕の出来た時間を大いに活用して、身體を鍛へ、心を練り、智識をもとめ、しつかりした自覺をもつて、備へねばなりません。

週報第百一號「實施される商店法」参照



↑ 十時、もう店じまひだ。いままでは二時間も早い。けふ一日がはかに短かつたやうな気がする。お前達は偉大なア、あまつた時間は大切に使へよ。と訓へる番頭さんもうれし氣に、昨日まではおろそかだつた掃除にも、しつかり身を入れる。

↓ 十時半から、ぼくらの會議が始つた。お菓子を食べながら、全員がけふ仕事をしながら、お店の發展はぼくらの向上だ。國家のお役に立つ理くつものに、國民協力についてお話しして下さつたが、よく納得がいった。



内閣情報部及・吉田



十時閉店で、二部安替にも時間が除つた。此處の御主人は、皆の爲に店員學校や、圖書室や立派な風呂を建てて下さつた。さあ、勉強だ、勉強だ。偉い人は、みんな苦學しながら、血の滲むやうな勉強をしてきたのだ。



兵隊さんに鑑勉、商人に算盤。そろばんはみつちり勘まねばならない。商店法施行でゆづべ早業した頭はあんまり間違つた答も出さず、成績がよかつた。御主人が皆の爲を考へてせつかく建てて下さつた店員學校だ。これから一生懸命やらう。

寄宿舎に歸つたが、まだ寝るには時間が早い。勝手が違つて、ほんやり遊んでみると先輩が「遊ぶための商店法ちやないぞ、一つ習字を教へてやらう。」と、手をとつて教へてくれた。早く上手になつて、故郷の父母へ立派な手紙を書いて見せよう。

「昔は、みんな寝しづまつた夜中、ふとんの中にもぐりこみそつと吹いたもんだから、番頭さんは感概深げだ。さあこれからは、ゆつくり好きなハローモニカも嬉しい。明日は、新しい樂譜でも買つて来よう。」

うれしさうな顔がすなりと並んだ。つひ、前日まで、早い時で、十二時過ぎでなければ寝られなかつた。それがどうだ、今夜など十時半といふのに眠れる。よし明日は早く起きて、體位向上的ラヂオ體操をがんばらう。

すやすやと眠る少女のやさしい夢路は何處をたどる？ 枕元の時計は十一時十分を過ぎたばかり、目覚しは六時を指してゐる。ああ、朝早く起きてラヂオオチキストで英語を勉強しやう、といふのだ。少女店員にも、恵まれた日がきた。

撮影 内閣情報部 及、吉田 繁



今夜は、映畫會だ。この間の休み、ビクニツクに出かけた時、御主人が、さかんに撮影されてゐたのがけふ出来たのだといふ。これから色キフィルムを買つて一週間に一編位は映畫會をやつて下さるそうだ。又楽しみが一つふへた。





わたくしたちは、このお休みを映画に見ることにしました。然し、つまらない映画映演でなく、卓球や、教訓映画です。しつかりと人生を見る眼をつくり、美しい情操を増つて、立派な日本人となる心かけを養ふのも、大切だと思ひます。

まきれいな空気が、緑の山、廣々とした野原、都会の塵埃を洗ひながら、私達の汽車は伊豆まで来ました。谷川の流れる入つて遊びたはむれる私達は、生き生きとほやむ悦びをおさへ得ませんでした。けふ、すつかりとしかへした元気で明日から又、たのしく働きませう。

たのしいお休み！ 指折り敷へて待つたお休み！ 御主人が、皆の見聞をひろめ健康な身体をつくるために伊豆へ連れて行つてやる、と言はれた時、思はず萬歳を叫びました。ついでに、商店法萬歳を唱へました。では、皆さん、いつてきます。

撮影
内閣情報部

明日は商店法できまつたのしい休日だ。映画、散歩、いろいろ提案があつたが、断然武道、運動で身体を鍛へることにした。「餘つた時間を有効に」と御主人が買つて下さつた道具をつくるひながら、みんな大いにはりきる。

早寝をすると、自然に早起きをする。六時、お二階の店員集会所に集つて、御主人の講話を聞きしつかりと人間をつくる精神修養に餘念がない。これから、ゆつくり御飯を食べて、さわやかな気持ちで仕事にかからう。

早く寝た分早く起きて、みんなでラヂオ体操だ。朝の澄んだ空気を胸一杯に吸ひこんで、元氣一杯、胸をふり、脚をのばす。鍛へよ身体、鉄後のゆめ、しつかり鍛へて、甲種合格になつてやるぞ。



早く寝るので、朝の青年学校軍事教練にも、無缺席で出られるやうになつた。これで國民の義務が果せる、いつでも銃を執つて立てると思ふと身體中に日本人のほこりがみなぎつてくる。ここで培つた遠慮精神を、けふの仕事にもぶちこまふ。



(2) 譜画謠歌民國
歌唱道鐵新

定撰會協送放本日

一、香都にあと
二、海路はと
三、東海道は
四、流線はと
五、つばめはと
六、松風はと
七、松風はと
八、松風はと
九、松風はと
十、松風はと
十一、松風はと
十二、松風はと
十三、松風はと
十四、松風はと
十五、松風はと
十六、松風はと
十七、松風はと
十八、松風はと
十九、松風はと
二十、松風はと



新鐵道唱歌

行進曲風 12-114

土岐青龍作詞
堀内敬三作曲

撮影 九波 一

本日の練試！よ見 力の後銃

縣島福・縣手岩・縣森青
況狀業專發開耕農團集縣各



港荒とした荒野だつた、疲せきつておつた。荒つてくはたいて吐息するだけだつた。見てくれ何處さ僻の人のせうがあると思つたものだつた。

荒れ移す。この決心もこの荒地を見ては容易につかなかつた。御先祖さまにも申さねえ、他人さまのあれこれの意見にも動揺するのだつた。だが、今や見てくれと云ひたい。縣の人たちのお蔭でもあり、計らひだつた新しいやり方のお蔭でもある。然し日本た、荒野を沃野にするために一分の無駄もあつちやならぬと思ふのだ。

右 青森縣南津軽郡藤崎町
上 阿閉 發 前



資源として土地そのものを見なばさねばならぬ。秋、土とも生きるわしら、わしらは新しい土地を探し求めた。見渡すこの地もこの家々も縣の人達と力を合せて築いたものだ。しかも新式の農具を望みもつと、組織だつた農耕の仕方を研究しようとしてゐるのだ。

左 岩手縣胆野郡南津軽町の農耕地開墾
下 阿閉 發 前



エイツショツ、自づとかけ野もそふ。初めはトラクターのガソリンの臭ひに吐氣するものもあつたが切り株が手もなく掘りおこされる、荒地がすき起されると思へば大聲で叫びたい衝動に駆られる。ハロー作業

實のりは充分だといへない。肥料も灌漑もまだ不十分だ。けれど、あの石だらけの荒地に開墾がこれほど進んだのらうとは思はずだ。

わしらはた、いかつた。暴風雨とも闘つた。あれやこれやの愚痴言とも、自分自身の骨惜しみも、開墾つて拓いてしまはねばならぬのがわしらの聲だ。



すべて皆さんの努力の結果だ、これほどいい耕地になるとは夢にも思はなかつた。縣の方針にたいして一時は遠慮違ひしたもので、しかしこれだけできることを眼の前にしてわしらは心を新たに思つて来ました。叩き直せばならぬと思つて来ました。

同地区第二次移住者入植式



東北の農村は、あまりにも自然に恵まれず反つてその豊盛と奇蹟さにおびやかされ積りてきた。いきほひ、經濟状態は萎縮し文化は遅れがもてあつた。

従つて銃後の全農村が奮闘してゐる資源確保、農村更生の課題は、東北地方にとつては層切實なものとして浮び上つた。同時に近代的、計画的な農業經營法が要求され、各縣當局の指導で集團農耕が各地に行はれつつある。

いかなる學苦に對してもキリツと腹をくひしはり黙々と突す、むのが東北農民の特有な性格だ。その執拗な追求力は必ず古い生活を改めずには止まぬであらう。

一平方哩の土地をも放棄してはならぬ。主にたいする新たな愛情は、遙か大陸を拓く人々と呼應しつつ昂められてゐる。



**ドイツ訪問の
ハンガリー艦政**
ベルリン、ローマ、マニラ、チェコ、三國間の間に、はさまれたハンガリーは、全艦政の中心を築いて、折から、同國艦政ホルチイ提督一行は、ヒッラー提督一行の招請により八月廿一日から公式ドイツ訪問を行なう。獨逸艦政を開始した。獨逸はヒッラー提督と同道、ベルリン入りをするホルチイ提督(左)



海の 彼方

時事通信社



米陸軍の新運着機
O-47A型といふ一見、遊覧機の窓のついたやうな新奇なタイプの運着機飛行機が今度全米運着機飛行中隊に出現することになった。パイロット座席の特殊装置によつて前後左右支障なく旋回が利くやうになつてゐる。近く行はれる第三回の米南西部及び東南部空軍演習によつて實際の効力が示されることにならう。

**ル大統領米洲
平和を強調**
ルーズヴェルト米大統領はカナダのクイーンズ大学から名誉博士號を授けられたことに、八月十八日同大を訪問した。この席上同大大統領は、大学のロープをまといつて米洲平和を強調し、カナダが萬一外國に侵されれば合衆國は、すんで援助といふもの、ロッキンガムといふもの、見られる外交演説を行つた。

**ベネシエ大統領
空軍演習を參觀**
チェコスロヴァキア政府とスデーア・ドイツ人との問題は、なかに解決し、さうもない。内外危機を、さういふつた情勢のうちに、優秀な飛行士が、この程度開かれた。寫眞は、チェコスロヴァキアのアンブロイツ少佐から、まだ實戦を、経験しない同國空軍の實力を、詳細に、人々、ベネシエ大統領。





ルメラヤキンモレ・ルメラヤキーヒーコ・ルメラヤキクシミ
 黒糖五のルメラヤキムーリク・ルメラヤキトーレコヨチ



！うか行で氣元てつ張頑！アサ
ルメラヤキ治明

社 會 式 株 菓 製 治 明



熱狂的歓迎の中を八月十七日午後晴れの帝都入りをした友邦獨逸の若き使徒ヒトラーユーゲント一行は、先づ緑濃き大内山を仰いで、敬虔な敬禮を行ひ、宮城前より装ひこらしたニッサン乗用車三臺、ニッサンバス二臺に分乗萬歳の聲に送迎せられつゝ、明治神宮、靖國神社に参拝した。

ニッサンはゲットVと共に日産自動車の製作する純國産優秀大衆車で前線でも銃後でも多数の御用命を蒙つて居ります。

東京・日産自動車販賣株式会社・丸の内



カ 読 者 の
 メ ラ の
 作 品 等

愛馬を語る
 東京市豊谷區 東河 江藤
 愛馬を語るに大陸に征つた勇士の心を心として、今日も優しい村のほとけは近くの小川の清水を流んでおの口をうるはす。山形縣荒井町の好ましい銃後風景。

朝 禮
 新潟縣新潟市 中本 一雄
 仁と愛、赤き心を表徴する旗の下、こい哈演赤十字病院の職員は、毎朝午前八時、屋上のベランダに整列して遙かひんがしの方角を拜し、一分間の黙禱を捧げる。此の敬虔のひととき、皇國の民として、大陸野の先驅として、満洲の野に先驅感涙は身一ぱいに洗れる。

父ちゃん母ちゃんも國語勉強
 北本市太平町 郭 復三
 支那事變を契機として、支那島民の間に民化運動は澎湃として涌き上りましたが、一日も早く日本人たるにふさわしい教育を身に付けるには國語の習得が第一と、島内各町村に國語講習所が設立され、今や老若男女は學んで國語に大奮闘。新國語教本の行間にひしひしと迫る日本精神を讀みとる老人夫婦の眞實な様子を御覽下さい。



洗濯奉仕
 東京市牛込區 編島 淑
 銃後日本にくりひろげられた勤勞奉仕運動は、國民各層毎におもひ／＼の趣向に依つて行はれてゐるが、こゝに依つて世田谷の第二陸軍病院に現はれた愛國婦人會の人々は名譽の傷痍軍人の洗濯奉仕に専ら力を注いだのである。

寫眞募集規定
 本誌は「寫眞報」の一助にもと考へ、出来る限り紙面を開放し讀者のカメラを動員、優秀な寫眞を持つてゐる。題材は内外戦争、國策の宣傳に關するものから何れでもよい。例へば戦場にも民間にも、或は工場、家庭、學校など所々に關する戦後の奮ひ、國民精神總動員風景、或は季節と世相の面白い組合せなどどうでもよい。一枚の寫眞でも数枚でも構はず、サイズはキヤビキ以上、掲載の分には標題又は記念品を贈呈し版権は當部に歸するものとす。應募作品は一切返却せず。
 内閣情報部

所 込 申	價 定	昭和三十二年九月廿一日印刷發行
寫眞週報 送部	一ヶ月(前巻) 四圓八十錢	印刷部 内閣情報部
東京市牛込區 牛込二丁目二〇番地 電話四六八〇	一ヶ年分未滿送部者以上の方は一割十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい	發行部 東京市牛込區 内閣情報部
全國各地官報販賣所		印刷部 大日本印刷株式會社
東都書籍株式會社		東京市牛込區 加賀町一ノ二丁目
最寄書店・露賣店		
各地新聞販賣店		
寫眞材料店		

寫眞週報 (續前)

昭和三十三年九月廿一日印刷發行

内閣情報部

東京市牛込區 牛込二丁目二〇番地 電話四六八〇

全國各地官報販賣所

東都書籍株式會社

最寄書店・露賣店

各地新聞販賣店

寫眞材料店

寫眞週報 (續前)

本誌は「寫眞報」の一助にもと考へ、出来る限り紙面を開放し讀者のカメラを動員、優秀な寫眞を持つてゐる。題材は内外戦争、國策の宣傳に關するものから何れでもよい。例へば戦場にも民間にも、或は工場、家庭、學校など所々に關する戦後の奮ひ、國民精神總動員風景、或は季節と世相の面白い組合せなどどうでもよい。一枚の寫眞でも数枚でも構はず、サイズはキヤビキ以上、掲載の分には標題又は記念品を贈呈し版権は當部に歸するものとす。應募作品は一切返却せず。
 内閣情報部





寒胃の豫防に
視力の保護に

体内の栄養を充實するに貴重なハリバ

昔も今も、少しも減りな
しに、醫藥兩界を通じて、最も信頼
される強壯劑は肝油である。たゞ
量が多いのと、生臭くて服みにく
いだけが「玉に疵」であつたのが
ハリバによつて全く近代化された

一日量
小兒……一粒
大人……三粒

東京・大阪 田邊商店

百粒……二十五圓
五百粒……一百二十五圓

東京週報 昭和十三年二月十一日 第三種郵便物認可 昭和十三年九月廿一日發行 毎週二回大塚日發行 第一二號

(本質の大きさは既記規格A4・「標準」倍率)